

桜町高齢者在宅サービスセンター・本町高齢者在宅サービスセンター合同
地域密着型運営推進会議 報告書

開催日時	2024年4月2日 14:30～15:40
開催場所	桜町高齢者在宅サービスセンター 2F 地域支援部屋
参加者	<p>ご利用者家族： 桜町センターご利用者様 ご家族 A様 本町センターご利用者様 ご家族 B様</p> <p>地域住民代表： 行政書士 C様</p> <p>所在地管轄職員： 小金井きた地域包括支援センター 職員（以下：包括職員）</p> <p>センター職員： センター長 桜町デイサービス相談員（以下：桜町相談員） 本町デイサービス相談員（以下：本町相談員） 事務員</p>
司会進行	桜町デイサービス相談員
書記	事務員
<p>【議事録】</p> <p>1. センター長より運営推進会議について説明 地域密着型デイサービスは小金井市の管轄であり、地域の中で支え合い、皆様の声を運営に反映させていく目的で運営推進会議を6ヶ月に一回開催することが義務づけられている。</p> <p>2. 出席者の自己紹介</p> <p>3. 聖ヨハネ会高齢福祉部門の現状報告（センター長）※添付資料 聖ヨハネ会の高齢者福祉部門には、聖ヨハネホーム、桜町高齢者在宅サービスセンター、本町高齢者在宅サービスセンターの3施設ある。当施設に限らず高齢者施設では人材確保が非常に難しくなっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聖ヨハネホーム 11月～12月末に大人数の離職があり、運営危機にあったが、少しずつ入職があり安定してきている。一時中止していた新規受け入れは4月から、ショートステイは5月から再開予定。 ・本町センター 本施設は指定管理委託（市の土地・建物を借りて聖ヨハネ会が運営）の形で運営している。市としては今後、土地・建物を買い取ってもらい直接運営する管理者を希望していたが、相応しい事業者がなく、次回更新期限の2年後も引き続き、聖ヨハネ会が指定管理委託にて運営継続を目指していくこととなった。 ・2024年4月1日介護報酬の改定の概要 ※添付資料 改定率は1.59%、うち1%は職員の処遇改善（賃金改正）に当てられる。 	

- ・今年度は、昨年度までコロナ禍で開催できなかった会議や委員会を開催し、施設間の交流を活発化していきたい。

4. 認知症対応型通所介護サービスの状況報告

- ・本町高齢者在宅サービスセンター（本町相談員） ※添付資料

要介護3～5の中重度の方の利用が多い。急な入院やショートステイの利用、感染症の流行によって利用率がなかなか上がらない中、添付資料、写真のような様々な取り組み、活動を行っている。

- ・桜町高齢者在宅サービスセンター（桜町相談員） ※添付資料

桜町は2グループ（24名定員）と大人数のため、安心して穏やかに過ごせるように心がけている。要介護2～3の自分で動ける利用者が多く、落ち着かない時には危険のない範囲で動いてもらい、見守りをしている。職員はスキルアップが必要で、ベテラン職員を多く配置している。活動は体操が中心で、天気の良い日は敷地内散歩など楽しんでいる。入院、入所、ご逝去に伴い利用率低下しているが、一般デイからの移行、また新しい対応として障害者（ダウン症）のご利用者を受け入れしている。

5. 包括支援センターより（包括職員）

包括ではLINEによる情報発信を積極的に行っている。高齢者向けの無料スマホ教室なども活用してほしい。第3土曜日、PM2：30～桜町センター3Fにて、オレンジカフェを開催している。地域の中で心配な方などあれば包括の総合相談窓口へ情報を寄せてください。

6. 意見交換（質疑応答）

B様・・・入浴サービスを受けられる基準知りたい（回数を増やしたい）。

センター長・・・本町センターは一人ひとり入れる形なので、人数に限られ、すべての要望に応えきれないところもある。

本町相談員・・・お休みやショートステイで空きが出た時に都度対応している。

A様・・・本人が嫌がらずに行ってくれ（仕事に行っているつもり）助かっている。

自分の時間を持つことができ感謝している。

C様・・・大量離職の件を聞いていたので心配していた。コミュニケーションを取って早めに手を打ち、人材を大切にしてほしい。利用率低下について、認知症対応型という名前はイメージが良くないので損をしているのではないか。愛称を使う、表記の順番を変えるなど考えてみてはどうか。

B様・・・やはり最初に認知症対応型ですと言われた時はショックを受けた。

桜町相談員・・・一般型より少人数で職員体制が手厚いなど、理解していただけるような言葉を選んで説明していくよう心掛ける。

7. 次回開催予定： 2024年9月25日（火）